

郡山市は、戦後復興の機運のなか、市民による音楽活動をもとにした映画が撮られるほど全国の注目をあつめ、その延長上で、安積黎明高校合唱部などアマチュア団体の全国規模のコンクールでの毎年のような上位入賞、そして作曲家の湯浅譲二さん、指揮者の本名徹次さんなどのプロの音楽家の国際的な活躍によって「音楽都市」の地位を確固たるものとしてきました。そうそう、かつては歌謡曲の故・市川昭介さん、近年ではGreeneryと、大衆音楽の世界のほうも忘れてはいけません。

Greeneryはともかく、この「楽都」という言葉は、これまでの歴史的な背景を踏まえ、郡山市の都市イメージのキーワードとして創られた言葉です。その「楽都郡山」へ、「ロマネスクな異色新人」として話題を呼び、独特な女性像で知られる有元利夫（1946～1985）の作品がやってきました。その有元の作品には音楽を感じさせるテーマの女性像がたくさんあります。

有元が本格的な制作活動を行ったのは20歳代の終わりごろから没年までの約10年です。このたった10年のあいだに、有元は370点あまりのタブローと多くの版画や素描を創り続けました。ヨーロッパのフレスコ画や日本の仏画の肌合いにインスピレーションを得たという独特の画風は、今日も多くの美術ファンの心をとら



「ロンド」 1982(昭和57)年
三番町小川美術館所蔵 ©Yoko Arimoto

ようこそ楽都へ ～ 有元利夫と「天空の女神」たち

没後25周年 有元利夫展 — 天空の音楽 —

2010(平成22)年

1月30日(土)～3月22日(月・祝)

開館時間：午前9時30分から午後5時まで

(入館は午後4時30分まで)

休館日：毎週月曜日(ただし3月22日は開館)

主催：郡山市立美術館

協力：産経新聞社/三番町小川美術館

企画協力：イデア・ジャパン

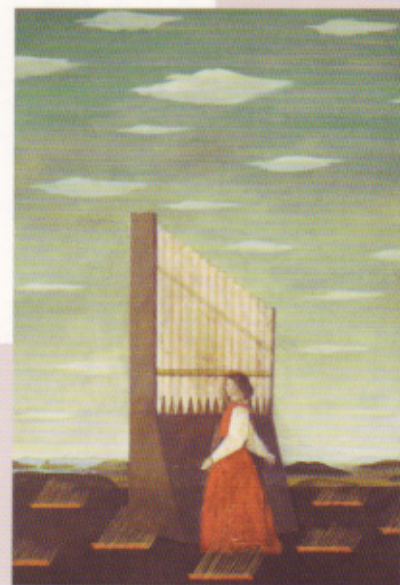
観覧料：一般800(640)円 高校・大学生500(400)円

()内は20名以上の団体料金

中学生以下、65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方は無料



「花降る日」 1977(昭和52)年
三番町小川美術館所蔵 ©Yoko Arimoto



「フーガ」 1976(昭和51)年
三番町小川美術館所蔵 ©Yoko Arimoto

優雅で格調高いバロック音楽へひかれるようになりま
す。お気に入りには、というヴァイオリン協奏曲「四季」
(とくに「春」)があまりにも有名なヴァイナルディ。あの
マンネリ感がたまらない、と有元は言っています。

また、バロックに興味を持ち始めたころの音楽の鑑
賞法がちょっと変わっています。ホールでの生演奏を
聴く以外だったら、好きなミュージシャンのレコード
(現代ならCD)をプレーヤーにかけて聴くのが普通
でしょうが、有元は音楽を専攻する友人に勧められ、
レコードではなくてスコア(楽譜)を買ってきて、リコ
ーダーで「自分で演奏して聴く」というやり方で音楽
を鑑賞したのです。どんな名コンダクターや名オーケ
ストラの演奏よりも、自分自身の目で音符を読み、自
分自身の口で、手で演奏したほうが楽しいんですよ
ね。自らやってみて学習する、今はやりの体験学習の
元祖みたいな人です。

こうして身につけていった音楽は、やがてビジュアル
的に再現され、再構築されて一枚の絵となって皆さんの
前に登場します。今度は皆さんが有元の作品を鑑賞
し、(楽都 郡山)に舞い降りた「天空の女神」たちの奏
でる音楽を感じ取ってください。

ええています。
クラシカルなタッチで描かれた現代風の女性たちの
多くは、それぞれが歌い奏で、あるいは舞っています。
「音楽」は有元の作品にとって不可欠な要素のひとつな
のです。
有元は10代のころ、伝説の武道館公演を二回も聴き
に行ったほどの「ビートルズ命」だったのですが、やがて